



有老協 施設長研修制度カリキュラム(18科目)

1. 有料老人ホーム事業の理解		
No	科目名	ねらい
1	有料老人ホームの法令・制度上の位置づけと事業特性の理解	有料老人ホーム事業の法的根拠や高齢者向け住まい事業の特性、社会的役割、等について理解する。
2	有料老人ホーム総論	有料老人ホームが提供するサービスや事業スキーム全体について理解する。
2. 高齢者の心身特性の理解と尊厳の確保		
3	入居者の人権保護、尊厳確保とコミュニケーション力向上	職員が確かな福祉観・人間観（マインド）に基づいて入居者の尊厳を守り適切なコミュニケーションを図るための、管理者としての運営ノウハウを学ぶ。
4	同 グループワーク	
5	認知症の症状と行動の理解	認知症の原因疾患や特有の行動を理解するとともに、適切な対応による悪化防止・職員の負担軽減を図る技術・方法を学ぶ。
6	高齢者の身体特性の理解	高齢者に多い疾病、症状、感染症等を理解し、緊急時を含む施設での対応方法を学ぶ。
7	入居者のニーズ把握とサービスの質向上	ホーム事業の特性を踏まえ、入居者のニーズを把握する方法や、サービスの質を高めるための組織的な取り組み方法について学ぶ。
3. 施設業務の理解と業務標準化の推進		
8	施設業務と管理者の役割理解	施設内の各業務部門が行う専門的業務を理解し、管理者としての基本的なマネジメント方法について学ぶ。
9	業務の標準化と個別化	業務マニュアルの作成等をはじめ、入居者に対する業務の標準化と個別化を体系的に学ぶ。
4. 施設長の役割		
10	入居契約の理解	ホームの入居契約について、有料老人ホーム設置運営指導指針の要求、入居者保護、不適切条項の排除等、令和元年改正の「標準入居契約書」に基づき理解を深める。
11	施設運営リスクの理解	施設内事故への対応や再発防止策、財務・運営・経営リスク等への、具体的なマネジメント方法を学ぶ。
12	介護現場におけるハラスメント対策について (令和元年度トピックス科目)	入居者・家族から職員へのハラスメント（身体的暴力、精神的暴力、セクハラ）への具体的対応方法を、平成30年度に初めて策定された「介護現場におけるハラスメント対策マニュアル」に基づいて学ぶ。
13	苦情解決への取り組み	苦情解決の組織的な対応方法や、個別対応技術、対応困難事例への対応方法等について学ぶ。
5. 職員の理解と人材管理		
14	職員トラブルへの対応	各業務部門で発生する組織トラブルを理解し、管理者として求められる対応方法に学ぶ。
15	職員意識の理解と人材管理	多様な職種・職員で構成する職場環境を適切に管理するために必要な、ES調査やキャリアパス等を含む人材管理について学ぶ。
16	同 グループワーク	
17	入居者虐待・身体拘束廃止への取り組み	入居者虐待や身体拘束を理解し、廃止のための具体的なマネジメント方法を学ぶ。
18	セルフ・マネジメント	管理者が自身のストレス等にどう向き合うかメンタルヘルスストレスマネジメントなど具体的な方法を学ぶ。